



プロ棋士と巡る

鶴林寺&かつめしツアー

■ 鶴林寺

第51回将棋の日は16年ぶりに加古川で開催。鶴林寺&かつめしツアーでは、プロ棋士たちと一緒に青流戦の決戦の地・鶴林寺を巡りました。「こんなに大勢のプロ棋士と交流できるのは初めてで楽しいです」と久保九段と談笑する参加者。かつめしに舌鼓を打ちながら、会場の中ではここでしか聞けない将棋談話に花を咲かせていました。

ひとあしごとに、ワクワクひろがる

加古川ツーデーマーチ

■ 中央会場

2日間で3,314人の参加者が市内各地を歩きました。1日目に10kmコースを笑顔でゴールした4人家族。「歩くのは大変だったけど、普段通らない道を歩いて、いろんな景色を見られて楽しかった」と男の子は満足げな表情。

秋の爽やかな日差しの中、加古川を満喫しました。

大きく育ってね! 稚魚の放流会

■ 海洋文化センター

日本釣振興会により用意されたのは3,000匹のキジハタ(アコウ)。東播磨漁業組合の協力の下、参加者は護岸に並び、合図と共に一斉に放流しました。

参加した親子は「よく釣りをします。キジハタはおいしい魚。大きく育ってほしいですね」と答えてくれました。

加古川には楽しいイベントがいっぱい!
イベントで出会ったステキな瞬間をご紹介します

つづきは
こちら



編集後記

えんぴつ

新春の表紙を飾ったのは、はたちの集い実行委員会の川西さんと河野さん。座談会のテーマ・加古川駅周辺×新春感＝駅前で振り袖!という思い付きに快く協力してくれました。

私はひねくれ者でかわいげのない学生だったので、同級生に会うのが恥ずかしく成人式は出席していません。今回、



川西さんの少し早い振り袖姿に目を細めるご両親を見て、親孝行の機会を逃していた自分に気づきました。一応写真だけは撮ったのですが…今では少し後悔しています。少しでも素直になることを今年の目標にと思いつつ、すでに「少しでも」と逃げている自分がいるのです。(あ)

